



学校便り 「志々伎の風」

No.3

目指す児童像

「自然に親しむ優しい子ども」 「自分で学び考える子ども」
「気力・体力を高める子ども」 「将来の夢をめざす子ども」

平成30年4月27日

文責

平戸市立志々伎小学校

校長 村田 俊郎

【第7回ふれあい運動会に向けて】

「志々伎おろしのはた風に わがけんじんは勇むなり…」

昭和の初めから志々伎小学校に伝わる志々伎応援歌です。少なくとも今の高校2年生以下の子どもたちは、歌ったことがなく歌えません。2年前から地域の方に歌っていただいていたが、今年度は保護者・地域の方と子どもたちが、一緒に歌うことができると練習を始めています。地域の方に歌詞を思い出して歌っていただいたり、楽譜にしたりしてピアノ伴奏までできました。ありがとうございました。

午後の地区対抗リレーの前に、「志々伎応援歌合唱」をプログラムに入れました。応援歌合唱の中で、選手に入場してもらう予定です。当日は、志々伎の空に約300名の歌声を響かせましょう。

また、午前中最後に「志々伎大集合（みんなで記念撮影）」も入れました。1年で志々伎地区の人が、最も集まる日です。約300名の五月の空のようにさわやかな笑顔写真を収めましょう。



【親子で読書・みんなで読書】

春なのに、くまさんはまだ眠り続けています。森の動物たちは、なんとか起こそうとがんばりますが、なかなか起きしてくれません。最後に登場するのはアリスさんです。



【法被作り】

3年生以上は、ソーラン節の衣装作りに励んでいます。ソーラン節は、おさかな祭りやイルミネーション点灯式、クリスマス会などの地域の行事においても披露しています。世界に一つだけの法被を学校HPにもアップしていきます。



【変わります。外国語活動・外国語科】

今年度から、中学年に外国語活動、高学年に外国語科の授業が始まりました。これまで以上に、中学校の英語科とのつながりが上手いくようになっていくというねらいがあります。

外国語活動（中学年）では、「聞くこと」「話すこと」に慣れ親しむことをねらっています。外国語科（高学年）では、「聞くこと」「話すこと」を定着させ、「読むこと」「書くこと」に慣れ親しむことをねらっています。

そのために、31年度まで、中学年15時間、高学年これまでの35時間+15時間=50時間実施します。32年度からは、完全実施ということで、中学年35時間、高学年70時間になります。